

Event Report

ウクライナ戦争：欧州の対応とインド太平洋へのインプリケーション

2022年10月26日（水）

10月26日、コンラート・アデナウアー財団（KAS）日本事務所は、「ウクライナ戦争：欧州の対応とインド太平洋へのインプリケーション」をめぐって専門家によるラウンド・テーブルを開催した。

冒頭、モデレーターの慶應義塾大学 鶴岡路人准教授より本会の位置づけについて説明を行った上で、KAS 日本事務所のラベア・ブラウアー代表よりブリュッセル・スクール・オブ・ガバナンスの Centre for Security, Diplomacy and Strategy (CSDS)及び日本の専門家各位による参加を歓迎、謝辞を述べた。

CSDS のスピーカーが言及したポイントは以下通り。

- 欧州・大西洋（EU-Atlantic）、インド太平洋（Indo-Pacific）それぞれの地域から見たロシアによるウクライナ侵攻の影響
- 米国の軍事的プレゼンスを通じた両地域の間接的なつながり
- 価値感を共にする日本及び台湾の欧州による再評価
- 東欧諸国の中国へのポジショニング変化
- EU の戦略的自律性における防衛協力の更なる緊密化と強化
- 防衛分野における EU と NATO のより良い連携・協力への発展

その後、新領域（ニュー・ドメイン）における日・NATO 協力、台湾有事、志を共にする国々の連帯、兵器システム等について議論が行われた。

以上